

2005/3/30 (後期第8回目) でアナウニス(未補助ワード)



$$A(r) = \frac{\mu_0}{4\pi} \frac{1}{r^1} \int \vec{J}(r') dr' + \frac{\mu_0}{4\pi} \frac{1}{r^2} \int \vec{J}(r') \hat{r} r'^2 dr'$$

[1] zero flux
[2] $m \times \hat{r}$
where $m = \frac{1}{2} \int \vec{J} \times \hat{r} r'^2 dr'$

補助では [1], [2] の計算を残し、補助ワードで説明を省略した。

- [1] magnetic mono-pole の頂に電流する。局在した定常電磁場は $\nabla_r \cdot \vec{J}(r') = 0$ であり、直角的座標系をベクトル函数を解くのは zero にある感覚するが、その説明は 省略しておこう。

$$\int \vec{J}(r') dr' を 直角座標を用いて、その成分を直角にすらす \Rightarrow \int \vec{J}_i(r') dz^i$$

(ただし $i=1, 2, 3$ たとえ x, y, z)
は式補助

(注) $x_i \vec{J}(r')$ の divergence を取る
結果 $\nabla_r \cdot (x_i \vec{J}(r'))$

$$\nabla_r \cdot (x_i \vec{J}(r'))$$

II

$$x_i \nabla_r \cdot \vec{J}(r') + J_i(r')$$

定常電流
中のE

この結果を用いて

$$\int J_i(r') dz^i = \int \nabla_r \cdot (x_i \vec{J}(r')) dz^i$$

カクスの
発表正確性

局在した電磁場
をすり替わる曲面

この曲面上では
電流分布 $J(r') = 0$ である

$$\int \vec{J}(r') dz' = \emptyset を得る$$